



ポイント1

- 疑問文には、Yes / Noで答える疑問文、orを使ってどちらかを選ばせる疑問文（選択疑問文）、疑問詞で始まる疑問文があります。
- 疑問詞には、次のようなものがあります。
 - **When** did you come to Tokyo? (あなたはいつ、東京に来ましたか)
 - **Where** did he go yesterday? (彼は昨日、どこに行きましたか)
 - **Who** is standing on the chair? (だれがいすの上に立っていますか)
 - **What** did Ken do yesterday? (健は昨日、何をしましたか)
 - **Why** do they study math? (彼らはなぜ数学を勉強するのですか)
 - **How** does Kumi go to school? (久美はどのようにして学校へ行きますか)
- 疑問詞で始まる疑問文が、もう1つの文の中に入るとき、疑問文の語順が〈疑問詞＋主語＋動詞〉になります。このような疑問文を間接疑問文といいます。
 - I don't know **what it is**. (私はそれが何かを知りません)
 - Does Ken know **where she lives**? (健は彼女がどこに住んでいるのか知っていますか)

チェック1

(1)～(4)は下線部を日本語になおし、日本語訳を完成させましょう。(5)は_____に適当な語を書きましょう

- What is he doing? 彼は[]しているところですか。
- Where does Ken live? 健は[]住んでいますか。
- How many cups do you have? あなたはカップを[]持っていますか。
- Why did you visit Kyoto? あなたは[]京都を訪ねたのですか。
- Please tell me _____ Ken is. (健がどこにいるか教えてください)

ポイント2

「もし～だったらなあ」などと現実とは異なることを仮定して表現するには、**仮定法**を用います。現在のことで動詞の形が過去になることに注意しましょう。

- I wish I **were** a bird. (私が鳥だったらなあ)
- If I **had** wings, I **could** fly in the sky. (私に翼があれば空を飛べたのになあ)

チェック2

日本語訳を参考に()内の語を適当な形に変えましょう。

- I wish I (can:) play the trumpet. (私にトランペットが吹けたらなあ)
- If I (be:) you, I wouldn't do such a thing.
(もし私があなただったら、そんなことはしないでしょう)